

第二級海上特殊無線技士試験問題

(注) 解答は、答えとして正しいと判断したものを一つだけ選び、答案用紙の答欄に正しく記入（マーク）すること。

法 規 12問 } 24問 1時間
無線工学 12問

法 規

〔1〕 無線局の免許人は、無線設備の変更の工事をしようとするときは、総務省令で定める場合を除き、どうしなければならないか。次のうちから選べ。

- 1 あらかじめ総務大臣の許可を受ける。
- 2 あらかじめ総務大臣にその旨を届け出る。
- 3 総務大臣に無線設備の変更の工事の予定期日を届け出る。
- 4 あらかじめ総務大臣の指示を受ける。

〔2〕 船舶に設置する無線航行のためのレーダー（総務大臣が別に告示するものを除く。）は、何分以内に完全に動作するものでなければならないか。次のうちから選べ。

- 1 1分以内
- 2 2分以内
- 3 4分以内
- 4 5分以内

〔3〕 無線従事者は、その業務に従事しているときは、免許証をどのようにしていなければならないか。次のうちから選べ。

- 1 航海船橋に備え付ける。
- 2 携帯する。
- 3 無線局に備え付ける。
- 4 主たる送信装置のある場所の見やすい箇所に掲げる。

〔4〕 無線局の免許人は、その船舶局が遭難通信を行ったときは、どうしなければならないか。次のうちから選べ。

- 1 総務省令で定める手続により、総務大臣に報告する。
- 2 その通信の記録を作成し、1年間これを保存する。
- 3 船舶の所有者に通報する。
- 4 速やかに海上保安庁の海岸局に通知する。

〔5〕 総務大臣から無線従事者がその免許を取り消されることがあるのはどの場合か。次のうちから選べ。

- 1 5年以上無線設備の操作を行わなかったとき。
- 2 電波法又は電波法に基づく命令に違反したとき。
- 3 刑法に規定する罪を犯し、罰金以上の刑に処せられたとき。
- 4 日本の国籍を有しない者となったとき。

〔6〕 無線局の免許人は、無線従事者を選任し、又は解任したときは、どうしなければならないか。次のうちから選べ。

- 1 1箇月以内にその旨を総務大臣に報告する。
- 2 速やかに、総務大臣の承認を受ける。
- 3 遅滞なく、その旨を総務大臣に届け出る。
- 4 2週間以内にその旨を総務大臣に届け出る。

第二級海上特殊無線技士試験問題

法 規

〔7〕 一般通信方法における無線通信の原則として無線局運用規則に定める事項に該当するものはどれか。次のうちから選べ。

- 1 無線通信は、長時間継続して行ってはならない。
- 2 無線通信を行う場合においては、暗語を使用してはならない。
- 3 無線通信は、試験電波を発射した後でなければ行ってはならない。
- 4 無線通信に使用する用語は、できる限り簡潔でなければならない。

〔8〕 無線局がなるべく擬似空中線回路を使用しなければならないのはどの場合か。次のうちから選べ。

- 1 工事設計書に記載した空中線を使用できないとき。
- 2 他の無線局の通信に混信を与えるおそれがあるとき。
- 3 総務大臣の行う無線局の検査のために運用するとき。
- 4 無線設備の機器の試験又は調整を行うために運用するとき。

〔9〕 次の記述は、無線電話通信における遭難呼出しの方法について述べたものである。無線局運用規則の規定に照らし、 内に入れるべき字句を下の番号から選べ。

遭難呼出しは、次に掲げる事項を順次送信して行うものとする。

- | | |
|------------------|----------------------|
| (1) メーデー（又は「遭難」） | 3回 |
| (2) こちらは | 1回 |
| (3) 遭難船舶局の呼出名称 | <input type="text"/> |

- 1 1回
- 2 2回
- 3 3回
- 4 3回以下

〔10〕 次の記述は、通報の送信について述べたものである。無線局運用規則の規定に照らし、 内に入れるべき字句を下の番号から選べ。

無線電話通信における通報の送信は、 行わなければならない。

- 1 語辞を区切り、かつ、明りょうに発音して
- 2 内容を確認し、一字ずつ区切って発音して
- 3 明りょうに、かつ、速やかに
- 4 単語を一語ごとに繰り返して

〔11〕 無線電話通信において、応答に際して直ちに通報を受信しようとするときに応答事項の次に送信する略語はどれか。次のうちから選べ。

- 1 送信してください
- 2 どうぞ
- 3 了解
- 4 OK

〔12〕 無線局は、遭難通信等を行う場合を除き、相手局を呼び出そうとするときは、電波を発射する前に、どの電波の周波数を聴守しなければならないか。次のうちから選べ。

- 1 自局の発射しようとする電波の周波数その他必要と認める周波数
- 2 自局に指定されているすべての周波数
- 3 他の既に行われている通信に使用されている電波の周波数であって、最も感度の良いもの
- 4 自局の付近にある無線局において使用している電波の周波数